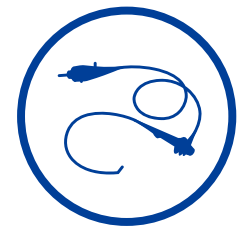


内視鏡事業



Endoscopic Solutions Business

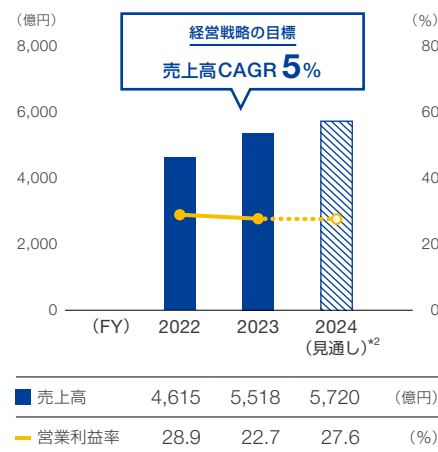
“
 Quadruple Aim*1と人々の健康を支える革新的な「診断と治療」の内視鏡ソリューションの創出により、医療水準の向上への貢献を目指します”

エンドスコピックソリューションズディビジョンヘッド

フランク・ドレバロウスキー(左) 河野 裕宣(右)



通期実績



*2 2023年8月9日公表見直し

FY2023売上構成比



主な製品



事業環境

- 消化器内視鏡**
- 先進国における高齢化の進行、がん予防への意識の高まりによる症例数の増大
 - 新興国における経済成長に伴う事業機会の拡大、手技普及に向けたトレーニングの要求
 - 「質」の向上と「効率」の改善への要求
 - 洗浄・消毒・滅菌プロセスへの関心の高まり

- 外科内視鏡**
- 3Dシステムについては、中期的に成熟化が進むとともに、4Kにも対応したイメージャーやデータ伝送技術が普及することでFull 4Kシステムの導入が加速していく
 - 特殊光観察技術においても各社とも独自の技術開発を進めており、市場へ普及していく

*1 患者さんのQOL向上および医療機関と医療従事者に対する提供価値の向上

領域別の戦略・進捗・今後の取り組み

事業基盤

- 消化器内視鏡は世界シェア約7割
- 世界で初めて胃カメラの実用化に成功し、その後も世界をリードし続ける
- NBI/RDI/TXI/EDOFに代表される技術力
- 世界に約200の修理サービス拠点
- 外科内視鏡における4K/3D等、高画質・高品質の差別化製品を保有
- 多品種少量生産を実現するものづくり力
- さまざまな内視鏡のニーズに対応する強力な統合システムソリューション
- 充実したトレーニング施設の保有、プログラムの展開

消化器内視鏡

戦略	進捗と今後の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> NBI/RDI/TXI/EDOFなどの先進的なイメージング機能により、内視鏡検査の質の向上に貢献 CAD(Computer-aided diagnosis)を搭載したAIシステム、シングルユース内視鏡により新市場への参入とポジショニングを強化 すべての医療施設における重要課題である、感染対策の強化に貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 消化器内視鏡システム「EVIS X1」の発売済み市場での拡販および米国や中国など今後発売を予定している市場への投入、加えてグローバルで約70,000台ある従来モデルからの買い替え需要を捉え、高い売上成長を目指す AIを活用した内視鏡CADプラットフォーム「ENDO-AID」の発売済み市場での拡販 次世代超音波内視鏡システムの発売準備 シングルユース十二指腸鏡を開発中 製品ポートフォリオとアドバイザーサービスの充実により、感染予防と患者さんの安全・効率性の向上を図る。新型内視鏡洗浄消毒装置の拡販

外科内視鏡

戦略	進捗と今後の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> 次世代外科手術用内視鏡システムの開発 「外科イメージング」、「腹腔鏡手術支援ロボット」、「スマートアシスト手術」を念頭に置き、長期的な外科内視鏡の事業戦略を展開・実行 	<ul style="list-style-type: none"> 中国では「VISERA ELITE II」のIR(赤外光)機能対応モデルを2022年3月期に発売。また、外科用内視鏡システム「VISERA ELITE III」を発売済み市場および今後発売を予定している市場(日本/欧州は発売済み、米国/中国は今後発売予定)において拡販 医療用蛍光イメージングの技術を持つQuest Photonic Devices社の買収 手術用顕微鏡システム「ORBEBEYE」のIR(赤外光)/BL(青色光)機能の発売準備

医療サービス

戦略	進捗と今後の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> 製品の高い稼働率、ライフサイクルコストの予測、スムーズで安全なオペレーションといった顧客ニーズに沿った包括的なサービスポートフォリオにより、利益を伴ったビジネス成長を図る 製品ライフサイクルのすべてのタッチポイントにおいて顧客満足度を継続的に向上させ、オムニチャネルを活用したシームレスなサービス体験を提供 	<ul style="list-style-type: none"> 以下に基づき、顧客価値が実証された新しいサービスを開発 <ul style="list-style-type: none"> 修理センター・ネットワークの最適化 フィールドサービスの拡大 カスタマー・ポータルやコネクテッド・システムなど、デジタル対応サービスの拡大

拾い上げ・診断・治療のワークフローを向上する新たなデジタルカスタマーソリューション

多くの患者さんに、より良いアウトカムを合理的なコストで提供しつつ、複雑な症例のワークフローに対応することが、医療機関や医療従事者の皆さまに求められています。そこで当社は、ワークフロー全体の効率性と有効性を高め、医療従事者の皆さまと患者さんの手技に関する体験を変革し、患者さんのより良いアウトカムのために意思決定を最適化する、新しいデジタルソフトウェアソリューションを開発しています。当社の新しいクラウドベースのソフトウェアプラットフォームは、ワークフローを一元管理するソリューションを特徴とし、AIを活用したCADと臨床判断支援において市場のリーダーシップを確立することを目指します。

